

耕三の会

令和五年五月六日(土) 十五時開演

独鼓 熊野 謡 長山芽生 小鼓 清水皓祐

仕舞 頼政 上野雄三
 佛原 浅見慈一
 忠度 坂井音雅

地謡 上田顕崇
 上田大介
 吉井基晴
 上野雄介

休憩二十分

常世ノ妻 坂井音隆
佐野源左衛門常世 長山耕三

能 鉢木 大鼓 柿原弘和
 最明寺時頼 江崎欽次朗 小鼓 清水和音
 二階堂某 松本義昭 笛 赤井要佑
 従者 大坪賢明

早打 善竹忠亮
二階堂下人 善竹隆平

後見 桑田貴志 石井寛人 齊藤信輔
 視世喜正 奥川恒成 山本章弘
 地謡 山本麗晃 藤井完治
 藤井文雄 上田大介

終了予定 十八時五十分頃

あらすじ 「鉢木」

昨年のドラマで注目を浴びた鎌倉幕府と執権北条氏。北条時頼は五代執権で、引退し出家した晩年に諸國を巡った伝説がありそこから創作されたのが能「鉢木」です。時頼は三代執権泰時の孫になります。

能は大雪山の夜に佐野の里(群馬県高崎市)で立ち往生した株僧が宿を借りるところから始まります。貧しそうな家の主人はもてなすものがない中で粟飯を出し、秘蔵の三つの盆栽、梅・桜・松を今は無用のものとして薪にして火にくべて暖をとらせます。僧がその人柄を感じ入って名を尋ねると佐野源左衛門常世という零落した武士で、今はこのような境遇だが武器や瘦せ馬だけは残して鎌倉に一大事があれば一番に駆け付ける覚悟だと話します。僧と別れた後日、幕府から全国の武士に招集令が出されると常世も馳せ参じます。幕府の最高権力者最明寺時頼は実は株の僧で、集結した武士の中から常世を探し出させ、その忠誠心をたたえ旧領を返し松梅桜に縁のある庄を与えたのでした。

武家政権を確立した鎌倉幕府を背景に、武士の忠義心や困った人にとってを投げうって助ける心、実直な生き方が扱われることなどを能のドラマは訴えかけ、大衆に支持されてきた人気の高い曲です。「いざ鎌倉」という言葉の典故になったとも考えられています。松に雪がのった作り物の風情も主人公常世の境遇や寂しい情緒を引き立てます。(梅内美華子)



「能楽百番 月岡耕漁」能/鉢木 「能面巻物」能/鉢木 国立能楽堂提供

ごあいさつ

昨年は、たくさんのお客様に御支援・御後援をいただき、大曲「鉢」を勤めさせていただきましたこと、深く御礼申し上げます。

さて、本年は、「忠義、おもてなし、心真つ直ぐな」佐野源左衛門常世が主人公の能「鉢木」に挑戦させていただきます。

この曲は、能面を掛けない直面(ヒタメン・素顔)で演じる「現在物」です。曲を演目と違い、現在進行形で場面が進んでまいります。

この度も音声ガイドにて梅内美華子氏に解説をして頂き、鎌倉時代の物語を判りやすく御鑑賞いただけるかと思っております。

その他の演目は「平家物語」にちなんだものを選びました。

まだまだ世情目まぐるしい日々ですが、昨年の大河ドラマでの歩き五女のセリフが印象に残り、前向きに「天命に逆らわず」精進したく思っております。

皆様の御来場を心よりお待ちしております。

(引用)大河ドラマ「鎌倉殿の13人」第四十五話歩き五女のセリフ

能楽師 長山耕三
令和五年 一月吉日



令和4年 耕三の会「鉢」より

歌人 梅内美華子氏による音声ガイド(別料金・事前お申込み)もあり、安心して古典芸能の世界をお楽しみいただけます。ぜひご利用ください。